

桜ヶ丘地区コミュニティバス実証運行の利用実績について

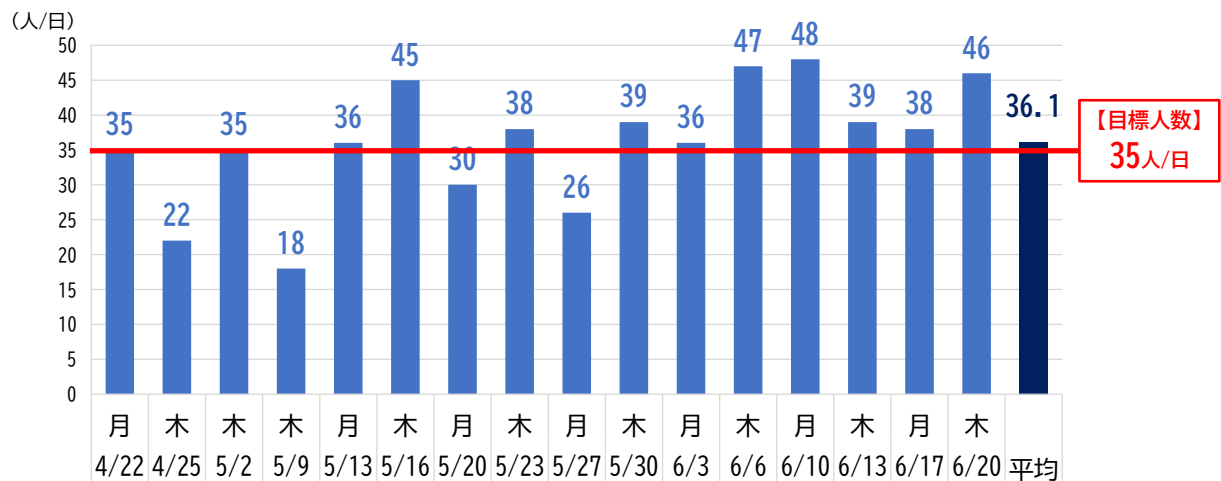
令和 6 年 4 月 22 日から実証運行を開始した桜ヶ丘地区コミュニティバスの利用状況を報告する。

(集計対象期間：令和 6 年 4 月 22 日～6 月 20 日)

1. 日別の乗車人数

- ・日別の乗車人数は、実証運行初日の 4/22(月)は 35 人と目標人数※通りであり、4/25(木)が 22 人、5/9(木)が 18 人と目標を下回る状況であった。ただし、連休明けの 5/13(月)からは毎回 26 人以上の利用があり、5/30(木)以降は全ての運行日で目標人数を上回っている。
- ・現在の平均乗車人数は 36.1 人/日であり、目標人数をやや上回っている。
- ※目標人数：市負担割合が 7 割となる場合の日平均乗車人数

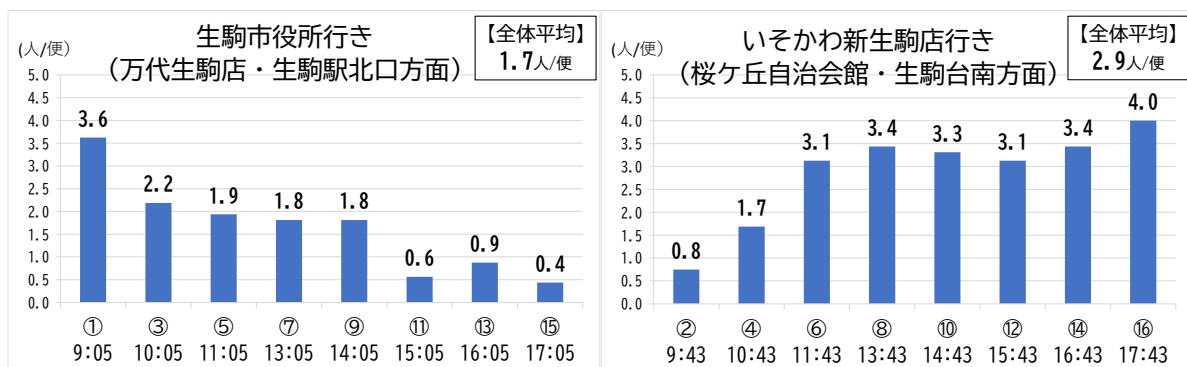
【日別の乗車人数】



2. ダイヤ別の乗車人数

- ・生駒市役所行きと比較して、いそかわ新生駒店行きの利用が多い。
- ・生駒市役所行きは、始発便の 9:05 発の利用が最も多い。10:05 発から 14:05 発までは 1.0 人/便以上の利用があるが、15 時以降は利用が少なくなり 1.0 人/便を下回る。
- ・いそかわ新生駒店行きは、最終便の 17:43 発の利用が最も多い。最も利用が少ない 9:43 発から遅い時間の便になるにつれて利用が増える傾向にある。

【ダイヤ別の 1 便あたりの平均乗車人数】



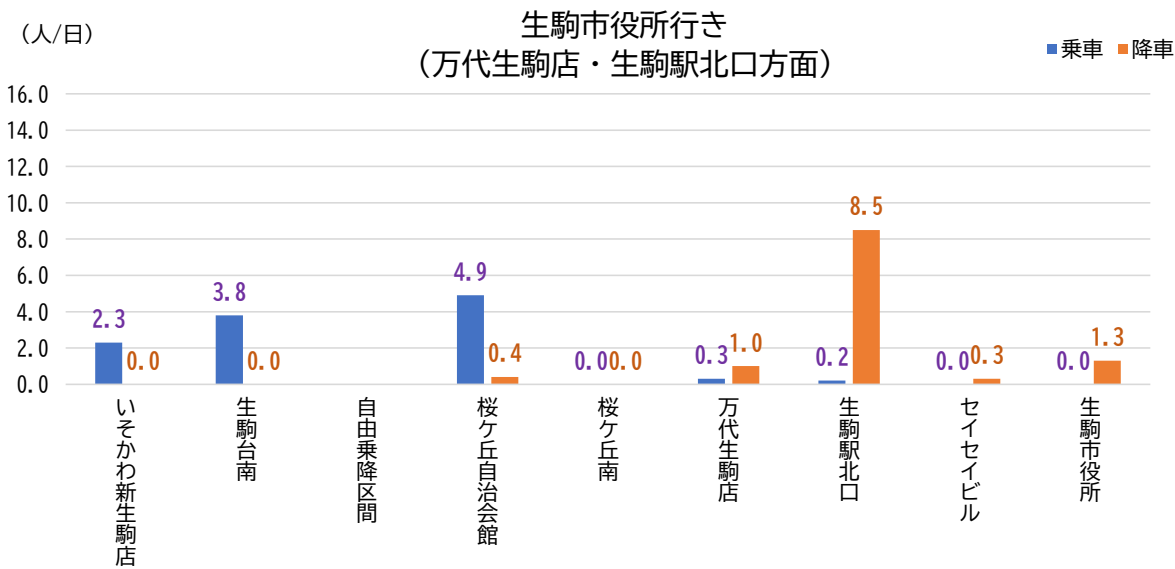
3. バス停別の乗降人数

・ 生駒市役所行きは、乗車人数は桜ヶ丘自治会館が最も多く、次いで生駒台南が多い。降車人数は生駒駅北口が最も多い。

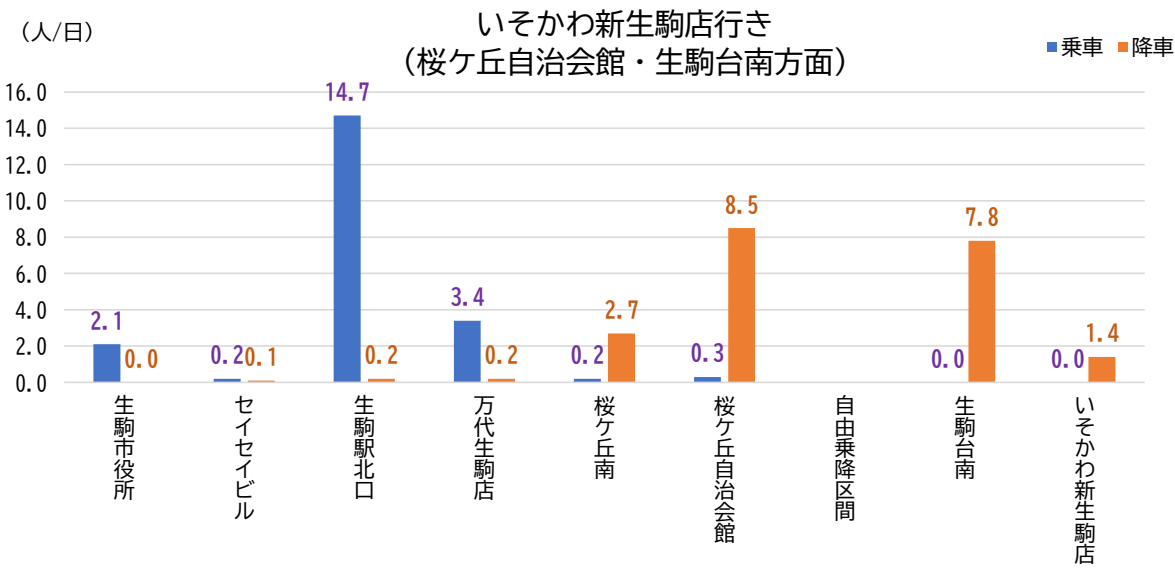
・ いそかわ新生駒店行きは、乗車人数は生駒駅北口が最も多い。降車人数は桜ヶ丘自治会館が最も多く、次いで生駒台南が多い。

※自由乗降区間について、利用者数をカウントできていなかったため結果が反映できておらず、5月末時点での参考結果とする。

【バス停別の 1 日あたりの平均乗降車人数 生駒市役所行き】



【バス停別の 1 日あたりの平均乗降車人数 いそかわ新生駒店行き】



4. 利用状況（まとめ）

- ・ 運行開始 1 ヶ月間は目標人数(35 人/日)を達成していない運行日がみられたが、それ以降はほぼ全ての運行日で目標人数を達成しており、平均乗車人数は目標を上回った。利用定着が進むことで、更なる利用増加が期待される。
- ・ 生駒市役所行きは、始発便(9 時台)の利用が最も多く、15 時以降の利用が少ない。一方、いそかわ新生駒店行きは、生駒市役所行きよりも利用が多く、遅い時間になるにつれて利用が増加する傾向にあり、最終便の利用が最も多い。
- ・ 方面別の利用は、登り坂や買い物の荷物の関係で、いそかわ新生駒店行き（北行）の利用が多い。バス停は、生駒駅北口、桜ヶ丘自治会館、生駒台南の利用が多い。
- ・ 利用者は、お年寄りだけでなく、遅い時間帯では子連れの方の利用も見られる。
- ・ 今後は、月別の利用状況の推移を確認し、本格運行に向けてダイヤ等の変更の必要性について検討を進める。

5. 今後の利用促進策の実施について

- ・ 今後利用促進策に取り組んでいくにあたり、桜ヶ丘地区のコミュニティバス委員会と市で打合せを行い、以下の利用促進策の実施に向けて取り組んでいくこととなった。
- ① 回数券の導入
 - 大人：2,000 円 11 枚綴り、小学生・障がい者：1,000 円 11 枚綴り
 - ※他路線で導入している回数券と金額は同じ。
 - ※有効期限を設定し、令和 7 年 3 月 31 日まで使用可能とする。
 - ※回数券の導入については、運賃協議分科会で検討する。
 - ② 桜ヶ丘自治会で回数券の販売
 - 回数券が導入されたら、自治会が定価で回数券を購入し、幾分かの割引を行い桜ヶ丘地区の住民へ販売を行う。
 - ③ 桜ヶ丘自治会だけでなく、生駒台自治会とも協力して地元主体の利用促進策を実施